

## 同窓生のひろば

### 私のモラトリアム

加地 辰美  
(北高21回)

前職の防衛医科大学校では主に防衛医官の教育と臨床に携わってきました。退官後は救急を扱う第一線の病院で働いてみたく、自宅近くの病院に放射線科医(画像診断医)として勤務し、退官からはや七年になるうとしています。そのような折、叙勲を機に北斗だよりへの執筆依頼を受け、高校時代から浪人時代を振り返る良い機会に恵まれました。この機会を与えていただいた北斗だよりの関係者のみなさまに感謝申し上げます。

高校生活で最も印象に残っているのは菊の栽培とワシントン広場の夜はふけて、にあわせて輪になって踊るフォークダンスでした。一学年下の女生生とのダンスは心ときめく瞬間でもありました。しかし全般において受験勉強一色であり楽しい思いではありません。

せんでした。むしろ将来に対する不安と希望が持てない日々を過ごしていたように思います。

大学入試では第一志望に失敗し、第二志望の防衛医科大学校に入校しました。ここでは上級生や同期と一室に八人が生活する全寮制であり、分刻みのスケジュールに従って学業と日々の訓練を行う生活でした。厳しく、忙しい毎日ではありませんでしたが、人間同士の連帯感を感じられ、高校時代の漠然とした不安を感じる暇もなく過ごしていました。体力もつき考える余裕もでき丸一年を迎えようとする

頃、士官になって何十人もの年上の部下を指揮しているだろうかと真剣に考えるようになり、知人の医師の勧めで医学の道を志すことを決心し、防衛大学校を退校しました。三島由紀夫氏が市ヶ谷の自衛隊本部で最後を遂げた翌年(昭和四十六年)の春のことです。

浪人最後の年はかつて大街道三丁目にあった愛媛研修学院という予備校に通っており、予備校で出会った女性が現在の妻です。今振り返れば高校卒業後三年で医師への道が開け、生涯の伴侶にも巡り会えたことは幸運でありました。この三年の月日は回廊というより私の人間形成にとって必要な時間でもあったと感じています。



祝  
おめでどう  
ございます

### 令和六年度春の叙勲

#### 瑞宝小綬章

加地 辰美様  
(北高21回)

防衛医科大学校名誉教授  
防衛教育功勞

石丸 邦彦様  
(北高23回)

元熊本地方方法務局長  
法務行政事務功勞

谷村 雄二様  
(北高23回)

元公立中等教育学校校長  
教育功勞

### 令和六年度秋の叙勲

#### 瑞宝小綬章

植田 輝久様  
(北高22回)

元情報本部職員  
防衛功勞

#### 瑞宝双光章

長本 俊介様  
(北高18回)

元公立中学校長  
教育功勞

## 臨海建設株式会社

松山市古三津6-6-30 TEL(089)951-2332

県警では若い力を待っています。

**愛媛県警察 北斗会一同**



母校のますますの発展を応援しています



人が集い 笑顔広がる  
幸せ実感都市 まつやま

**松山市役所 七星会**